秘

総務省承認№ 26924
承認期限 平成20年3月31日まで

第6回 21世紀成年者縦断調査

国民の生活に関する継続調査
〔女性票〕

（平成19年11月7日調査）

厚生労働省

地区番号		単位区番号		世帯番号		

出生年月	昭和 □□ 年 □□ 月生

（お願い）お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1　あなたはこの1年間（平成18年11月～19年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

1　慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2　病気やケガの治療のため入院した
　平成 □□ 年 □□ 月 ～ 平成 □□ 年 □□ 月
3　上記1、2のようなことはなかった

問2　あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

1　仕事についている
2　仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である
　→問3へお進みください
3　仕事についていない
　→
　1　家事に従事している
　2　通学している
　3　その他
　→問7へお進みください

問3　現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1　複数の仕事についている　→問4～補問4－4までは、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2　ひとつの仕事にのみついている

SAMPLE

問４　現在ついている仕事は１年前（平成１８年１１月１日）についていた仕事と同じですか。なお、１年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事と同じかどうかをお答えください。同じ勤め先でも補問４－１～４－３にあげるものに変化があった場合は、「２　違う」とお答えください。

1　同じ ---------→ 問５へお進みください
2　違う（１年前に仕事についていなかった方も含みます。）

補問４－１　現在ついている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。（問６まで同様です。）

1　会社などの役員・自営業主
2　自家営業の手伝い
3　自宅での賃仕事（内職）
4　正規の職員・従業員
5　アルバイト
6　パート
7　労働者派遣事業所の派遣社員
8　契約社員・嘱託
9　その他

勤め先における呼称を基準にお答えください。

雇用保険（失業保険）に加入していますか。
あてはまる番号１つに○をつけてください。

1　している
2　していない
3　わからない

補問４－２　従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1　1～4人	4　100～299人	7　1000～4999人
2　5～29人	5　300～499人	8　5000人以上
3　30～99人	6　500～999人	9　官公庁

補問４－３　どのような職業ですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1　専門的・技術的な仕事	5　サービスの仕事	9　生産工程・労務作業の仕事
2　管理的な仕事	6　保安の仕事	10　その他の仕事
3　事務の仕事	7　農林漁業の仕事	
4　販売の仕事	8　運輸・通信の仕事	

補問４－４　現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1　平成１８年
2　平成１９年

□□ 月

SAMPLE

現在、仕事についている方

問５　就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

・　１週間の勤務日数　通常 □ 日　・　平均的な１週間の就業時間 □□□ 時間

＊　１日８時間、週５日働いた場合は、勤務日数５日　就業時間４０時間となります。

・　１日の片道の平均通勤時間 □ 時間 □□ 分

※　ふだんの１週間の就業時間について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※　日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した１日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問６　現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

通っている

１　学業が主である ----------→ 問７へお進みください

２　仕事が主である ----------

３　通っていない ----------

→ 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、仕事についていない方、仕事についているが学業が主である方

問７　あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。（なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。）

１　思っている ----------→ 補問７－１へお進みください

２　思っていない ----------

→ １年前からずっと仕事についていない方は問12へお進みください。

→ この１年間に仕事についた経験がある方は問８へお進みください。

補問７－１　どのような形態の仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　会社などの役員・自営業主	４　正規の職員・従業員	７　契約社員・嘱託
２　自家営業の手伝い	５　アルバイト・パート	８　その他
３　自宅での賃仕事（内職）	６　労働者派遣事業所の派遣社員	

補問７－２　仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　している　　２　していない

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

この１年間（平成１８年１１月１日以降）に仕事をやめたことがある方

問８　この１年間にやめた所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についてお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についた年月	仕事をやめた年月	就業形態（あてはまる番号１つに○をつけてください。）								
			会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事（内職）	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他
１年前（平成18年11月１日）についていた仕事		平成　年　月									
平成18年11月１日以降に新たについた仕事	平成　年　月	平成　年　月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	平成　年　月	平成　年　月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	平成　年　月	平成　年　月	1	2	3	4	5	6	7	8	9

補問８－１　１年前（平成１８年１１月１日）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号１つを番号記入欄に記入してください。

1　自分の希望する仕事ではなかったから	14　健康がすぐれなかったから
2　能力・実績が正当に評価されなかったから	15　家族の介護のため
3　給与・報酬が少なかったから	16　家族が転勤したから
4　労働時間が長かった・休暇が少なかったから	17　育児休業がとりにくかったから
5　独立・起業のため	18　会社から出向・転籍を命じられたから
6　通勤時間が長かったから	19　希望退職に応じたから
7　転勤が多かったから	20　倒産したから
8　一時的・不安定な仕事だったから	21　解雇されたから
9　人間関係がうまくいかなかったから	22　契約期間が満了したから
10　会社の経営方針に不満を感じたから	23　初めから短期のつもりだったから
11　事業又は会社の将来に不安を感じたから	24　新しい仕事がみつかったから
12　結婚したから	25　勉強のため
13　出産・育児のため	26　その他（　　）

主なものの番号記入欄

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問９　あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号１つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な次の制度等はありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどうですか。
(1)育児休業制度 （ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。）	1　ある → 1　有給 / 2　無給 / 3　わからない 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(2)子の看護のための休暇制度 （ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。）	1　ある → 1　有給 / 2　無給 / 3　わからない 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(3)育児のための勤務時間の短縮等 （残業の免除は、こちらに含まれます。）	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(4)育児のための時間外労働の制限	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(5)育児のための深夜業の制限	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(6)事業所内託児施設	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない

SAMPLE

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

この１年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、かつ、現在、小学１年生以下のお子さんがいる方

問10　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号１つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用（注）	以前にお勤めの会社等での利用
(1)　育児休業制度	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(2)　育児のための勤務時間の短縮等（残業の免除は、こちらに含まれます。）	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(3)　育児のための時間外労働の制限	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(4)　育児のための深夜業の制限	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(5)　事業所内託児施設	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

補問10－１　この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成　　年　　月から

平成　　年　　月まで

問11　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1　休んだ　　日

2　休んでいない

補問11－１　お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数（注）	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1　年次有給休暇	日	日
2　子の看護のための休暇制度	日	日
3　欠勤扱い	日	日
4　その他	日	日

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

SAMPLE

すべての方

問12　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号１つに○をつけてください。（お子さんに関することではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1　卒業した---▸平成 □□ 年 □□ 月---▸
1 中学校　4 短大・高専　7 その他
2 高校　5 大学
3 専門学校　6 大学院

2　中退した---▸平成 □□ 年 □□ 月---▸
1 中学校　4 短大・高専　7 その他
2 高校　5 大学
3 専門学校　6 大学院

3　入学した---▸平成 □□ 年 □□ 月---▸
1 中学校　4 短大・高専　7 その他
2 高校　5 大学
3 専門学校　6 大学院

4　上記１～３のようなことはなかった

問13　あなたは現在、配偶者はいますか。
なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。（以下の問についても同様です。）

1　いる----------▸あなたは現在、配偶者と同居していますか。
1 同居している
2 同居していない

2　いない

問14　この１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次のような出来事はありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含みます。

1　結婚した----------▸
配偶者の生年月　1昭和 2平成 □□ 年 □□ 月生
同居を開始した年月　平成 □□ 年 □□ 月
2　離婚した
3　配偶者と死別した
4　上記１～３のようなことはなかった

補問14－１　現在、妊娠していますか。

1　している　　2　していない・わからない

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

問15　あなたは１日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平　日	□□ 時間 □□ 分	休　日	□□ 時間 □□ 分

問16　あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんを含めた人数を記入してください。（お子さんが欲しくない場合は、０人と記入してください。）

□□ 人

問17　現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

□□ 人（ご本人は含みません）

問18　あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、(1)、(2) のみお答えください。）

(1)　あなたの父親	１ 同居	２ 別居	３ 死別
(2)　あなたの母親	１ 同居	２ 別居	３ 死別
(3)　配偶者の父親	１ 同居	２ 別居	３ 死別
(4)　配偶者の母親	１ 同居	２ 別居	３ 死別

問19　この１年間（平成１８年１１月～１９年１０月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在（出産のために実家に帰るなど）は含みません。

１　した　　２　していない

補問19－１　現在のお住まいの状況について、あてはまる番号１つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 （※玄関・台所・便所・浴室などを含んだ住居全ての床面積の合計 ※畳２畳分＝約3.3㎡）	居住室数 （※玄関・台所・便所・浴室・廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチンは含めます。）
１　持ち家 ２　民間賃貸住宅 ３　社宅・公務員住宅等の給与住宅 ４　都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅 ５　借間・その他	１　25㎡未満 ２　25～50㎡未満 ３　50～75㎡未満 ４　75～100㎡未満 ５　100～150㎡未満 ６　150～200㎡未満 ７　200㎡以上	室

SAMPLE

問20　お子さんはいますか。

1　いる　　2　いない → 問21へお進みください

補問20－1　お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居の別	（同居しているお子さん）現在の放課後児童（学童）クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年　□□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年　□□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年　□□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年　□□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年　□□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年　□□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

補問20－2　現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　認可保育所（園）
2　事業所内託児施設
3　認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）
4　ベビーシッター、保育ママ
5　ファミリー・サポート・センター
6　幼稚園が行っている預かり保育
7　幼稚園（預かり保育を除く）
8　利用していない

補問20－3　現在、小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　あなた
2　配偶者
3　あなたの父
4　あなたの母
5　配偶者の父
6　配偶者の母
7　その他の家族・親族
8　その他（友人・知人等）
9　いない（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。）

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

すべての方（最後まで）

問21　現在、お住まいの地域等では、どのような保育サービスが利用できますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。

1　認可保育所（園）
2　事業所内託児施設（注）
3　認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）
4　ベビーシッター、保育ママ、ファミリー・サポート・センター
5　幼稚園（預かり保育を含む）
6　保育サービスはない
7　わからない

注）あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

問22　あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）の平成１８年１年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。
配偶者が別居している場合には、「(1)　あなたの所得」のみお答えください。

	平成１８年１年間の所得
(1) あなたの所得	1　あり　金額 ［　　］ 万円 2　なし
(2) 配偶者の所得	1　あり　金額 ［　　］ 万円 2　なし

児童手当の受給
1　あり
2　なし

例：月収20万円
ボーナス40万円（年２回）
その他の所得（不動産所得、児童手当等）年間10万円
の場合、
20万円×12か月＋40万×2回＋10万
＝３３０万円　となります。

注：1)　１万円未満は四捨五入してください。
2)　わからない場合は家族の方と相談してお答えください。
3)　その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。

SAMPLE

問23　あなた（現在、同居している配偶者がいる場合にはあなた及び配偶者）が平成１９年１０月の１か月間に支出した額を下欄に記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

平成１９年１０月の１か月間の支出	
(1)　支出額 （(2)、(3)を含む）	万　千円
(2)　うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1　あり 金額 万　千円 2　なし
(3)　うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用〕	1　あり 金額 万　千円 2　なし
(4)　親や兄弟など他の家族の支出との区別	1　できる　　2　できない

注：1)　支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。
2)　千円未満は四捨五入してください。

SAMPLE

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとまり次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

SAMPLE

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室
代表電話 (03)5253-1111(内線7592)
直通電話 (03)3595-2413
(平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

秘

総務省承認No. 26925
承認期限 平成20年3月31日まで

第6回 21世紀成年者縦断調査

国民の生活に関する継続調査
〔男性票〕

（平成19年11月7日調査）

厚生労働省

地区番号		単位区番号		世帯番号		
出生年月	昭和	年	月生			

（お願い）お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1　あなたはこの1年間（平成18年11月～19年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

1　慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2　病気やケガの治療のため入院した
　平成　　年　　月 ～ 平成　　年　　月
3　上記1、2のようなことはなかった

問2　あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

1　仕事についている
2　仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である
　→問3へお進みください
3　仕事についていない
　1　家事に従事している
　2　通学している
　3　その他
　→問7へお進みください

問3　現在、複数の仕事（休業中の仕事も含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。

1　複数の仕事についている　→問4～補問4－4までは、一番長い時間している仕事についてお答えください。
2　ひとつの仕事にのみついている

SAMPLE

問４　現在ついている仕事は１年前（平成１８年１１月１日）についていた仕事と同じですか。なお、１年前に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事と同じかどうかをお答えください。同じ勤め先でも補問４－１～４－３にあげるものに変化があった場合は、「２　違う」とお答えください。

1　同じ ----------→ 問５へお進みください
2　違う（１年前に仕事についていなかった方も含みます。）

補問４－１　現在ついている仕事は、どのような形態ですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。（問６まで同様です。）

1　会社などの役員・自営業主
2　自家営業の手伝い
3　自宅での賃仕事（内職）
4　正規の職員・従業員
5　アルバイト
6　パート
7　労働者派遣事業所の派遣社員
8　契約社員・嘱託
9　その他

勤め先における呼称を基準にお答えください。

雇用保険（失業保険）に加入していますか。
あてはまる番号１つに○をつけてください。

1　している
2　していない
3　わからない

補問４－２　従業者の数（勤め先・業主などの企業全体）はどのくらいですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1　1～4人	4　100～299人	7　1000～4999人
2　5～29人	5　300～499人	8　5000人以上
3　30～99人	6　500～999人	9　官公庁

補問４－３　どのような職業ですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

1　専門的・技術的な仕事	5　サービスの仕事	9　生産工程・労務作業の仕事
2　管理的な仕事	6　保安の仕事	10　その他の仕事
3　事務の仕事	7　農林漁業の仕事	
4　販売の仕事	8　運輸・通信の仕事	

補問４－４　現在の勤め先に勤め始めた時期、または事業を開始した時期はいつですか。

1　平成１８年
2　平成１９年

□□ 月

SAMPLE

現在、仕事についている方

問５　就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

・　１週間の勤務日数　通常 □ 日　・　平均的な１週間の就業時間 □□□ 時間

＊　１日８時間、週５日働いた場合は、勤務日数５日　就業時間４０時間となります。

・　１日の片道の平均通勤時間 □ 時間 □□ 分

※　ふだんの１週間の就業時間について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※　日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した１日当たりの片道通勤時間を記入してください。

問６　現在、学業のために学校に通っていますか。通っている場合は学業と仕事のどちらが主ですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

通っている

１　学業が主である ---→ 問７へお進みください

２　仕事が主である

３　通っていない

---→ 次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

現在、仕事についていない方、仕事についているが学業が主である方

問７　あなたは、現在、所得を伴う仕事につきたいと思っていますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。（なお、在学中の方は学校卒業後に所得を伴う仕事につきたいと思っているかどうかお答えください。）

１　思っている ---→ 補問７－１へお進みください

２　思っていない ---→ １年前からずっと仕事についていない方は問12へお進みください。

---→ この１年間に仕事についた経験がある方は問８へお進みください。

補問７－１　どのような形態の仕事につきたいと思いますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　会社などの役員・自営業主	４　正規の職員・従業員	７　契約社員・嘱託
２　自家営業の手伝い	５　アルバイト・パート	８　その他
３　自宅での賃仕事（内職）	６　労働者派遣事業所の派遣社員	

補問７－２　仕事を探したり開業の準備をしたりしていますか。あてはまる番号１つに○をつけてください。

１　している　　２　していない

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

この１年間（平成１８年１１月１日以降）に仕事をやめたことがある方

問８　この１年間にやめた所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についてお答えください。なお、同時期に複数の仕事についていた場合は、一番長い時間していた仕事をやめた場合について記入してください。

	仕事についた年月	仕事をやめた年月	就業形態（あてはまる番号１つに○をつけてください。）								
			会社などの役員・自営業主	自家営業の手伝い	自宅での賃仕事（内職）	正規の職員・従業員	アルバイト	パート	労働者派遣事業所の派遣社員	契約社員・嘱託	その他
１年前（平成18年11月１日）についていた仕事		平成　年　月									
平成18年11月１日以降に新たについた仕事	平成　年　月	平成　年　月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	平成　年　月	平成　年　月	1	2	3	4	5	6	7	8	9
	平成　年　月	平成　年　月	1	2	3	4	5	6	7	8	9

補問８－１　１年前（平成１８年１１月１日）についていた仕事をその後、やめたのはどのような理由からですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、その中で主なものの番号１つを番号記入欄に記入してください。

1　自分の希望する仕事ではなかったから
2　能力・実績が正当に評価されなかったから
3　給与・報酬が少なかったから
4　労働時間が長かった・休暇が少なかったから
5　独立・起業のため
6　通勤時間が長かったから
7　転勤が多かったから
8　一時的・不安定な仕事だったから
9　人間関係がうまくいかなかったから
10　会社の経営方針に不満を感じたから
11　事業又は会社の将来に不安を感じたから
12　結婚したから
13　出産・育児のため
14　健康がすぐれなかったから
15　家族の介護のため
16　家族が転勤したから
17　育児休業がとりにくかったから
18　会社から出向・転籍を命じられたから
19　希望退職に応じたから
20　倒産したから
21　解雇されたから
22　契約期間が満了したから
23　初めから短期のつもりだったから
24　新しい仕事がみつかったから
25　勉強のため
26　その他（　　）

主なものの番号記入欄

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問９　あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号１つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な次の制度等はありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどうですか。
(1)育児休業制度 （ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。）	1　ある 2　ない 3　わからない 1　有給 2　無給 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(2)子の看護のための休暇制度 （ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。）	1　ある 2　ない 3　わからない 1　有給 2　無給 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(3)育児のための勤務時間の短縮等 （残業の免除は、こちらに含まれます。）	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(4)育児のための時間外労働の制限	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(5)育児のための深夜業の制限	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(6)事業所内託児施設	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない

SAMPLE

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

この１年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、かつ、現在、小学１年生以下のお子さんがいる方

問10　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号１つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用（注）	以前にお勤めの会社等での利用
(1)　育児休業制度	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(2)　育児のための勤務時間の短縮等（残業の免除は、こちらに含まれます。）	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(3)　育児のための時間外労働の制限	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(4)　育児のための深夜業の制限	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(5)　事業所内託児施設	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

補問10－１　この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成 [　　] 年 [　　] 月から

平成 [　　] 年 [　　] 月まで

問11　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1　休んだ → [　　] 日

2　休んでいない

補問11－１　お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数（注）	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1　年次有給休暇	[　　] 日	[　　] 日
2　子の看護のための休暇制度	[　　] 日	[　　] 日
3　欠勤扱い	[　　] 日	[　　] 日
4　その他	[　　] 日	[　　] 日

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

SAMPLE

すべての方

問12　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、その年月を記入してください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号１つに○をつけてください。（お子さんに関することではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

1　卒業した→平成　　年　　月→
1 中学校　4 短大・高専　7 その他
2 高校　5 大学
3 専門学校　6 大学院

2　中退した→平成　　年　　月→
1 中学校　4 短大・高専　7 その他
2 高校　5 大学
3 専門学校　6 大学院

3　入学した→平成　　年　　月→
1 中学校　4 短大・高専　7 その他
2 高校　5 大学
3 専門学校　6 大学院

4　上記１～３のようなことはなかった

問13　あなたは現在、配偶者はいますか。
なお、「配偶者」には、事実上夫婦として生活しているが、婚姻届を提出していない場合も含みます。（以下の問についても同様です。）

1　いる→あなたは現在、配偶者と同居していますか。
1 同居している
2 同居していない

2　いない

問14　この１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次のような出来事はありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。
なお、結婚には、事実上夫婦として生活するようになった場合、離婚・死別には事実上夫婦として生活していた場合も含みます。

1　結婚した→
配偶者の生年月　1昭和 2平成　　年　　月生
同居を開始した年月　平成　　年　　月

2　離婚した
3　配偶者と死別した
4　上記１～３のようなことはなかった

問15　あなたは１日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平　日	時間　　分	休　日	時間　　分

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

問16　あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんを含めた人数を記入してください。（お子さんが欲しくない場合は、０人と記入してください。）

□　人

配偶者がいない方 配偶者と別居している方	配偶者と同居している方	⇨ 終了です

⇩

問17　現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

□　人（ご本人は含みません）

問18　あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。（配偶者がいない方は、(1)、(2) のみお答えください。）

(1)　あなたの父親	1　同居	2　別居	3　死別
(2)　あなたの母親	1　同居	2　別居	3　死別
(3)　配偶者の父親	1　同居	2　別居	3　死別
(4)　配偶者の母親	1　同居	2　別居	3　死別

問19　この１年間（平成１８年１１月～１９年１０月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在（出産のために実家に帰るなど）は含みません。

1　した　　2　していない

補問19－１　現在のお住まいの状況について、あてはまる番号１つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 （※玄関・台所・便所・浴室などを含んだ住居全ての床面積の合計 ※畳２畳分＝約3.3㎡）	居住室数 （※玄関・台所・便所・浴室・廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチンは含めます。）
1　持ち家 2　民間賃貸住宅 3　社宅・公務員住宅等の給与住宅 4　都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅 5　借間・その他	1　25㎡未満 2　25～50㎡未満 3　50～75㎡未満 4　75～100㎡未満 5　100～150㎡未満 6　150～200㎡未満 7　200㎡以上	室

SAMPLE

問20　お子さんはいますか。

1　いる　　2　いない → 問21へお進みください

補問20－1　お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居の別	(同居しているお子さん) 現在の放課後児童(学童)クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 □ 年 □ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 □ 年 □ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 □ 年 □ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 □ 年 □ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 □ 年 □ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 2 平成 □ 年 □ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

補問20－2　現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　認可保育所（園）
2　事業所内託児施設
3　認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）
4　ベビーシッター、保育ママ
5　ファミリー・サポート・センター
6　幼稚園が行っている預かり保育
7　幼稚園（預かり保育を除く）
8　利用していない

補問20－3　現在、小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　あなた
2　配偶者
3　あなたの父
4　あなたの母
5　配偶者の父
6　配偶者の母
7　その他の家族・親族
8　その他（友人・知人等）
9　いない（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。）

配偶者がいない方・配偶者と別居している方は、引き続き
次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

配偶者がいない方・配偶者と別居している方（最後まで）

問21　現在、お住まいの地域等では、どのような保育サービスが利用できますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。

1　認可保育所（園）
2　事業所内託児施設（注）
3　認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）
4　ベビーシッター、保育ママ、ファミリー・サポート・センター
5　幼稚園（預かり保育を含む）
6　保育サービスはない
7　わからない

注）あなた（現在、配偶者がいる場合には、あなたや配偶者）が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

問22　あなたの平成１８年１年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

	平成１８年１年間の所得
あなたの所得	1　あり　金額　万円 2　なし 児童手当の受給　1　あり　2　なし 例：月収20万円 ボーナス40万円（年２回） その他の所得(不動産所得、児童手当等) 年間10万円 の場合、 20万円×12か月+40万×2回+10万 ＝３３０万円　となります。

注：1)　１万円未満は四捨五入してください。
2)　わからない場合は家族の方と相談してお答えください。
3)　その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。

SAMPLE

問23　あなたが平成１９年１０月の１か月間に支出した額を下欄に記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

平成１９年１０月の１か月間の支出	
(1)　支出額 ((2)、(3)を含む)	万　千円
(2)　うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1　あり ↓ 金額 万　千円 2　なし
(3)　うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用〕	1　あり ↓ 金額 万　千円 2　なし
(4)　親や兄弟など他の家族の支出との区別	1　できる　　2　できない

注：1)　支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。

2)　千円未満は四捨五入してください。

SAMPLE

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとまり次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

SAMPLE

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室
代表電話 (03)5253-1111(内線7592)
直通電話 (03)3595-2413
(平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

秘

総務省承認No. 26926
承認期限 平成20年3月31日まで

第6回 21世紀成年者縦断調査

国民の生活に関する継続調査
〔配偶者票（女性用）〕

（平成19年11月7日調査）

厚生労働省

地区番号		単位区番号		世帯番号		

出生年月	1 昭和 2 平成	年	月生

（お願い）お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1　あなたはこの1年間（平成18年11月～19年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

1　慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2　病気やケガの治療のため入院した
　平成　　年　　月 ～ 平成　　年　　月
3　上記1、2のようなことはなかった

問2　あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

1　仕事についている
2　仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である
→ 問2－1～2－2へお進みください

3　仕事についていない
　1　家事に従事している
　2　通学している
　3　その他
→ 4頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

SAMPLE

補問２－１　それはどのような形態ですか。あてはまる番号１つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

1　会社などの役員・自営業主
2　自家営業の手伝い
3　自宅での賃仕事（内職）
4　正規の職員・従業員
5　アルバイト
6　パート
7　労働者派遣事業所の派遣社員
8　契約社員・嘱託
9　その他

勤め先における呼称を基準にお答えください。

補問２－２　就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

・　１週間の勤務日数　通常 □ 日　・　平均的な１週間の就業時間 □□□ 時間

＊　１日８時間、週５日働いた場合は、勤務日数５日　就業時間４０時間となります。

・　１日の片道の平均通勤時間 □ 時間 □□ 分

※　ふだんの１週間の就業時間について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※　日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した１日当たりの片道通勤時間を記入してください。

SAMPLE

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問３　あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号１つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	① あなたの就業形態で利用可能な次の制度等はありますか。	② ①で「ある」とお答えになった制度等についてお答えください。 利用に当たっての雰囲気はどうですか。
(1)育児休業制度 （ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。）	1　ある 2　ない 3　わからない 1　有給 2　無給 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(2)子の看護のための休暇制度 （ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。）	1　ある 2　ない 3　わからない 1　有給 2　無給 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(3)育児のための勤務時間の短縮等 （残業の免除は、こちらに含まれます。）	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(4)育児のための時間外労働の制限	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(5)育児のための深夜業の制限	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(6)事業所内託児施設	1　ある 2　ない 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない

SAMPLE

引き続き次頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

この１年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、かつ、現在、小学１年生以下のお子さんがいる方

問４　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号１つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用（注）	以前にお勤めの会社等での利用
(1)　育児休業制度	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(2)　育児のための勤務時間の短縮等（残業の免除はこちらに含まれます。）	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(3)　育児のための時間外労働の制限	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(4)　育児のための深夜業の制限	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(5)　事業所内託児施設	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

補問４－１　この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成　　年　　月から

平成　　年　　月まで

問５　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1　休んだ　　日

2　休んでいない

補問５－１　お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数（注）	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1　年次有給休暇	日	日
2　子の看護のための休暇制度	日	日
3　欠勤扱い	日	日
4　その他	日	日

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

SAMPLE

すべての方

問６　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号１つに○をつけてください。（お子さんに関することではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

１　卒業した ------→	１　中学校 ２　高校	３　専門学校 ４　短大・高専	５　大学 ６　大学院	７　その他	
２　中退した ------→	１　中学校 ２　高校	３　専門学校 ４　短大・高専	５　大学 ６　大学院	７　その他	
３　入学した ------→	１　中学校 ２　高校	３　専門学校 ４　短大・高専	５　大学 ６　大学院	７　その他	
４　上記１～３のようなことはなかった					

問７　あなたは１日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平　日	□□	時間	□□	分	休　日	□□ 時間 □□ 分

問８　あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんを含めた人数を記入してください。（お子さんが欲しくない場合は、０人と記入してください。）

□□ 人

問９　現在、妊娠していますか。

１　している　　２　していない・わからない

SAMPLE

問10　現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

	人（ご本人は含みません）

問11　あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1)　あなたの父親	1 同居　2 別居　3 死別
(2)　あなたの母親	1 同居　2 別居　3 死別
(3)　配偶者の父親	1 同居　2 別居　3 死別
(4)　配偶者の母親	1 同居　2 別居　3 死別

問12　この１年間（平成１８年１１月～１９年１０月）に転居、又は住居の増改築をしましたか。なお、転居には、住所変更を伴わない一時的な滞在（出産のために実家に帰るなど）は含みません。

1　した	2　していない

補問12－１　現在のお住まいの状況について、あてはまる番号１つに○をつけて、居住室数をお答えください。

住居の種類	住居の床面積 （※玄関・台所・便所・浴室などを含んだ住居全ての床面積の合計 ※畳２畳分＝約3.3㎡）	居住室数 （※玄関・台所・便所・浴室・廊下などは除きます。 ※ダイニングキッチンは含めます。）
1　持ち家 2　民間賃貸住宅 3　社宅・公務員住宅等の給与住宅 4　都市再生機構・公社等の公営賃貸住宅 5　借間・その他	1　25㎡未満 2　25～50㎡未満 3　50～75㎡未満 4　75～100㎡未満 5　100～150㎡未満 6　150～200㎡未満 7　200㎡以上	室

SAMPLE

問13　お子さんはいますか。

1　いる　　2　いない → 問14へお進みください

補問13－1　お子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	同別居の別	（同居しているお子さん）現在の放課後児童（学童）クラブの利用の有無
1	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年 □□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
2	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年 □□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
3	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年 □□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
4	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年 □□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
5	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年 □□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし
6	1 男 2 女	1 昭和 2 平成　□□ 年 □□ 月	1 同居 2 別居	1 あり 2 なし

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

補問13－2　現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　認可保育所（園）
2　事業所内託児施設
3　認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）
4　ベビーシッター、保育ママ
5　ファミリー・サポート・センター
6　幼稚園が行っている預かり保育
7　幼稚園（預かり保育を除く）
8　利用していない

補問13－3　現在、小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

1　あなた
2　配偶者
3　あなたの父
4　あなたの母
5　配偶者の父
6　配偶者の母
7　その他の家族・親族
8　その他（友人・知人等）
9　いない（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。）

引き続き次頁以降に記入をお願いいたします。

SAMPLE

すべての方（最後まで）

問14　現在、お住まいの地域等では、どのような保育サービスが利用できますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。

1　認可保育所（園）
2　事業所内託児施設（注）
3　認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）
4　ベビーシッター、保育ママ、ファミリー・サポート・センター
5　幼稚園（預かり保育を含む）
6　保育サービスはない
7　わからない

注）あなたや配偶者が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

問15　あなた及び同居している配偶者の平成１８年１年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。
配偶者が別居している場合には、「(1)　あなたの所得」のみお答えください。

	平成１８年１年間の所得
(1) あなたの 所得	1　あり　金額　万円 2　なし
(2) 配偶者の 所得	1　あり　金額　万円 2　なし

児童手当の受給
1　あり
2　なし

例：月収20万円
ボーナス40万円（年２回）
その他の所得（不動産所得、児童手当等）
年間10万円
の場合、
20万円×12か月＋40万×2回+10万
＝３３０万円　となります。

注：1)　1万円未満は四捨五入してください。
2)　わからない場合は家族の方と相談してお答えください。
3)　その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。

SAMPLE

問16　あなた及び同居している配偶者が平成１９年１０月の１か月間に支出した額を下欄に記入してください。配偶者が別居している場合には、あなたご自身の支出について記入してください。

なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

平成１９年１０月の１か月間の支出	
(1)　支出額 ((2)、(3)を含む)	万　千円
(2)　うち、お子さんの保育料 〔小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用〕	1　あり 金額 万　千円 2　なし
(3)　うち、お子さんの教育費 〔幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用〕	1　あり 金額 万　千円 2　なし
(4)　親や兄弟など他の家族の支出との区別	1　できる　　2　できない

注：1)　支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。
2)　千円未満は四捨五入してください。

SAMPLE

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとまり次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

SAMPLE

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室
代表電話 (03)5253-1111(内線7592)
直通電話 (03)3595-2413
(平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp

秘

総務省承認No. 26927
承認期限 平成20年3月31日まで

第6回 21世紀成年者縦断調査

国民の生活に関する継続調査
〔配偶者票（男性用）〕

（平成19年11月7日調査）

厚生労働省

地区番号		単位区番号		世帯番号		

出生年月	1 昭和 2 平成	年	月生

（お願い）お答えは、数字は右詰めで記入し、あてはまる番号は○で囲んでください。
お答えになった内容については統計以外の目的には使用しませんのでご協力をお願いいたします。

問1　あなたはこの1年間（平成18年11月～19年10月）に、健康に関する次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。（入院の経験が複数ある場合は、余白にご記入ください。）

1　慢性疾患などのため定期的に医療機関に通院した
2　病気やケガの治療のため入院した
　平成　　年　　月 ～ 平成　　年　　月
3　上記1、2のようなことはなかった

問2　あなたは、現在、所得を伴う仕事（学生アルバイトも含む）についていますか。あてはまる番号1つに○をつけてください。所得を伴う仕事には、家業（農業を含む）の手伝いや内職も含みます。

1　仕事についている
2　仕事についているが、休業中（育児休業、介護休業など）である
→問2－1～2－2へお進みください
3　仕事についていない
→
1　家事に従事している
2　通学している
3　その他
→3頁以降の該当する項目に記入をお願いいたします。

補問2－1　それはどのような形態ですか。あてはまる番号1つに○をつけてください。休業中の場合は、休業前の状況をもとにお答えください。また、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

1　会社などの役員・自営業主
2　自家営業の手伝い
3　自宅での賃仕事（内職）
4　正規の職員・従業員
5　アルバイト
6　パート
7　労働者派遣事業所の派遣社員
8　契約社員・嘱託
9　その他

勤め先における呼称を基準にお答えください。

SAMPLE

補問２－２　就業時間等についてお答えください。就業時間と勤務日数については、複数の仕事についている場合、それらを合計のうえ記入してください。

・　１週間の勤務日数　通常 [　　] 日　　・　平均的な１週間の就業時間 [　　] 時間

＊　１日８時間、週５日働いた場合は、勤務日数５日　就業時間４０時間となります。

・　１日の片道の平均通勤時間 [　　] 時間 [　　] 分

※　ふだんの１週間の就業時間について記入してください。また、ふだん残業している場合は、残業時間も含めて記入してください。

※　日によって通勤時間が異なる場合はそれらを平均した１日当たりの片道通勤時間を記入してください。

現在、会社等にお勤めの方（休業中、アルバイト・パート等も含む）

問３　あなたのお勤めの会社等には、以下のような、仕事と子育ての両立のための制度等であなたの就業形態で利用可能なものはありますか。それぞれの制度等について、あてはまる番号１つに○をつけてください。なお、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

制度等の種類	①　あなたの就業形態で利用可能な次の制度等はありますか。		②　①で「ある」とお答えになった制度等についてお答えください。利用に当たっての雰囲気はどうですか。
(1)育児休業制度（ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。）	1　ある 2　ない 3　わからない	1　有給 2　無給 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(2)子の看護のための休暇制度（ある場合には、有給・無給の別にもお答えください。）	1　ある 2　ない 3　わからない	1　有給 2　無給 3　わからない	1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(3)育児のための勤務時間の短縮等（残業の免除は、こちらに含まれます。）	1　ある 2　ない 3　わからない		1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(4)育児のための時間外労働の制限	1　ある 2　ない 3　わからない		1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(5)育児のための深夜業の制限	1　ある 2　ない 3　わからない		1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない
(6)事業所内託児施設	1　ある 2　ない 3　わからない		1　利用しやすい雰囲気がある 2　利用しにくい雰囲気がある 3　どちらともいえない

SAMPLE

この１年間に会社等に勤めたことがあり（アルバイト・パート等も含む）、かつ、現在、小学１年生以下のお子さんがいる方

問４　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次の制度等を利用しましたか。それぞれの制度等についてあてはまる番号１つに○をつけてください。

制度等の種類	現在お勤めの会社等での利用（注）	以前にお勤めの会社等での利用
(1)　育児休業制度	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(2)　育児のための勤務時間の短縮等（残業の免除はこちらに含まれます。）	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(3)　育児のための時間外労働の制限	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(4)　育児のための深夜業の制限	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし
(5)　事業所内託児施設	1　あり 2　なし	1　あり 2　なし

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

補問４－１　この育児休業を取得した期間（現在休業中の場合は予定期間）を記入してください。

平成　　年　　月から
平成　　年　　月まで

問５　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、病気やケガをしたお子さんを看護するために仕事を休みましたか。なお、お子さんの介護のために介護休業を取得した場合は除きます。

1　休んだ　　日
2　休んでいない

補問５－１　お子さんを看護するために、どのような休暇を取りましたか。あてはまる番号すべてに○をつけて、日数もご記入ください。

休暇の種類	現在お勤めの会社等で休んだ日数（注）	以前にお勤めの会社等で休んだ日数
1　年次有給休暇	日	日
2　子の看護のための休暇制度	日	日
3　欠勤扱い	日	日
4　その他	日	日

注）「現在お勤めの会社等」とは、現在、複数の仕事についている場合は、一番長い時間している仕事についてお答えください。

SAMPLE

すべての方

問６　あなたはこの１年間（平成１８年１１月～平成１９年１０月）に、次の出来事がありましたか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。また、それぞれの学校の種類についても、あてはまる番号１つに○をつけてください。（お子さんに関することではなくあなたご自身のことについてお答えください。）

１　卒業した ---→	１　中学校	３　専門学校	５　大学	７　その他
	２　高校	４　短大・高専	６　大学院	
２　中退した ---→	１　中学校	３　専門学校	５　大学	７　その他
	２　高校	４　短大・高専	６　大学院	
３　入学した ---→	１　中学校	３　専門学校	５　大学	７　その他
	２　高校	４　短大・高専	６　大学院	
４　上記１～３のようなことはなかった				

問７　あなたは１日の中で、家事・育児に何時間くらい費やしていますか。平日と休日に分けてお答えください。

平　日	□□ 時間 □□ 分	休　日	□□ 時間 □□ 分

問８　あなたは、全部で何人のお子さんを欲しいと思いますか。すでにいらっしゃる場合は、そのお子さんを含めた人数を記入してください。（お子さんが欲しくない場合は、０人と記入してください。）

□□ 人

SAMPLE

配偶者と別居している方　　配偶者と同居している方 ⇨ 終了です

⇩

問９　現在、同居している方は何人ですか。ご家族については、建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

□□ 人（ご本人は含みません）

問10　あなた及びあなたの配偶者のご両親と同居していますか。建物が別であっても、同一敷地内に住んでいる場合には、同居に含めてください。

(1)　あなたの父親	1　同居　　2　別居　　3　死別
(2)　あなたの母親	1　同居　　2　別居　　3　死別
(3)　配偶者の父親	1　同居　　2　別居　　3　死別
(4)　配偶者の母親	1　同居　　2　別居　　3　死別

問11　同居しているお子さんはいますか。

1　いる　　2　いない → 問12へお進みください

補問11－1　同居しているお子さんについて、年齢の高い順に記入してください。（7人以上お子さんがいらっしゃる場合は、余白にご記入ください。）

	性別	出生年月	現在の放課後児童(学童)クラブの利用の有無
1	1　男 2　女	1　昭和 2　平成　□□ 年 □□ 月	1　あり 2　なし
2	1　男 2　女	1　昭和 2　平成　□□ 年 □□ 月	1　あり 2　なし
3	1　男 2　女	1　昭和 2　平成　□□ 年 □□ 月	1　あり 2　なし
4	1　男 2　女	1　昭和 2　平成　□□ 年 □□ 月	1　あり 2　なし
5	1　男 2　女	1　昭和 2　平成　□□ 年 □□ 月	1　あり 2　なし
6	1　男 2　女	1　昭和 2　平成　□□ 年 □□ 月	1　あり 2　なし

配偶者と別居している方は、引き続き次頁以降に記入をお願いいたします。

SAMPLE

小学校入学前の同居しているお子さんがいらっしゃる方のみお答えください。

補問11－２　現在、利用している保育サービス等について、あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　認可保育所（園）	６　幼稚園が行っている預かり保育
２　事業所内託児施設	７　幼稚園（預かり保育を除く）
３　認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）	８　利用していない
４　ベビーシッター、保育ママ	
５　ファミリー・サポート・センター	

補問11－３　現在、小学校入学前のお子さんを、平日の日中に世話をしているご家族等はどなたですか。あてはまる番号すべてに○をつけてください。

１　あなた	６　配偶者の母
２　配偶者	７　その他の家族・親族
３　あなたの父	８　その他（友人・知人等）
４　あなたの母	９　いない（保育サービス等の利用のみの場合はこちらに含まれます。）
５　配偶者の父	

配偶者と別居している方（最後まで）

問12　現在、お住まいの地域等では、どのような保育サービスが利用できますか。ご存じのものすべてに○をつけてください。

１　認可保育所（園）
２　事業所内託児施設（注）
３　認可外保育施設（事業所内託児施設を除く）
４　ベビーシッター、保育ママ、ファミリー・サポート・センター
５　幼稚園（預かり保育を含む）
６　保育サービスはない
７　わからない

注）あなたや配偶者が会社等にお勤めの場合、その会社等に設置されている託児施設です。

SAMPLE

問13　あなたの平成１８年１年間に得た所得（働いて得た所得（税込み）とその他の所得の合計金額）を記入してください。

	平成１８年１年間の所得
あなたの所得	１　あり 金額 □□□□ 万円 ２　なし 児童手当の受給 １　あり ２　なし 例：月収20万円 ボーナス40万円（年２回） その他の所得(不動産所得、児童手当等) 年間10万円 の場合、 20万円×12か月＋40万×2回＋10万 ＝３３０万円　となります。

注：1)　１万円未満は四捨五入してください。
2)　わからない場合は家族の方と相談してお答えください。
3)　その他の所得には、親からの仕送り、家賃・地代等の財産収入、利子・配当金、児童手当・雇用保険からの育児休業給付等の社会保障給付金などを含みます。

問14　あなたが平成１９年１０月の１か月間に支出した額を下欄に記入してください。
なお、親や兄弟など他の家族と生計を同一にしているため、他のご家族の支出と区別することが困難な場合には、世帯全体（あなたの親や兄弟などの支出を含む）の支出を記入してください。

わからない場合には家族の方と相談してお答えください。

	平成１９年１０月の１か月間の支出
(1)　支出額 ((2)、(3)を含む)	□□□ 万 □ 千円
(2)　うち、お子さんの保育料 小学校入学前のお子さんについて、保育所、ベビーシッター等の保育サービスを利用した場合に支払った費用	１　あり 金額 □□□ 万 □ 千円 ２　なし
(3)　うち、お子さんの教育費 幼稚園、放課後児童（学童）クラブ、学校教育費、参考書等の購入費、家庭教師、通信教育、学習塾等に支払った費用	１　あり 金額 □□□ 万 □ 千円 ２　なし
(4)　親や兄弟など他の家族の支出との区別	１　できる　　２　できない

注：1)　支出には、税金、社会保険料、事業上の支払い、貯蓄、借金、住宅ローンの返済、掛け捨て型以外の生命保険料・損害保険料は含みません。
2)　千円未満は四捨五入してください。

SAMPLE

最後に、この調査に関して何でも結構ですので、感想など自由にご記入ください。

たいへんお忙しい中、
長時間にわたりご協力いただきまして、
ありがとうございました。

この調査の結果は、まとまり次第
皆さまのもとにお届けします。

少子化、就業、社会保障など、皆さまにとって身近な課題に取り組んでいくための重要な基礎資料とさせていただきますので、今後ともご協力いただきますようお願い申し上げます。

SAMPLE

調査担当

厚生労働省大臣官房統計情報部
社会統計課縦断調査室
代表電話 (03)5253-1111(内線7592)
直通電話 (03)3595-2413
(平日の月曜日～金曜日 9:30～18:15)
Eメール a-cohort@mhlw.go.jp